



axisgroup interview vol.02

顧客サービス部 部長
シニアアソシエイト

富田 裕二

axisgroup interview

私たちアクシスグループは、さまざまな経歴を持つ方が在籍しています。社員一人ひとりにストーリーがあり、経験によって育まれた温かな人柄があります。このインタビューを通して私たちのことをより知って頂ければ幸いです。

profile 経歴

入社年数：10年7ヵ月

職種：会計担当

役職：顧客サービス部 部長
シニアアソシエイト

大学卒業後、大阪市内の会計事務所に勤務。その後上場企業の資格スクール徳島支店責任者を経て独立し5年間のスモールビジネス経営を経てアクシスに入社。

現在の仕事内容

お客様の税務会計を中心とした様々なご相談の対応の他、部内の運営業務などを担当しています。

チームを想い、発展し続ける組織へ

Q.現在の職種を選んだきっかけについて教えてください。

友人の父親が税理士だったことに影響を受け、大学卒業後、大阪の会計事務所に就職しました。そこで多くの社長様方と接している内に経営に興味を持ち始め、マネージメントができる仕事をということで、資格スクールの支店責任者に転職しました。ところがこれが大コケして、結局支店は2年ほどで閉鎖となってしまうまで…。当時は失敗の理由を本部の方針やコンテンツのせいだと責任転嫁してしまい、自分自身を顧みることができませんでした。その後、会社を退職して独立し、中古車の輸出代行を手掛けたり、社会人大学院に通ったりしているうちに5年以上経ってしまったのですが、その試行錯誤の日々の中で、過去の失敗を振り返り、自分に足りなかったものや将来について考えることができたと思います。自分の適性としても、経営する側より経営をサポートする側の仕事が向いていると思うようになり、再び会計事務所の仕事に戻るために、アクシスへの入社を決めました。

Q.お客様と接する際に大切にされていることは何ですか？

私たちは税務会計を専門としたプロとして、特にその部分についてはしっかりと自分たちの意見をお客様に伝えていく必要があると思います。しかし、お客様にはそれぞれの経営方針があり、日々利益を生み出すために、様々な努力を積み重ねられています。私たちは、お客様の経営を会計に反映させる以上、事業のことを当然理解しておく必要はありますが、最も重要な利益に結び付くようなアドバイスは簡単にできるものではありません。ですから、仮にお客様と意見が異なる場合でも、まずはご意向を尊重しお聞きするという姿勢を持つことがとても大切だと考えています。

Q.部やプロジェクトチームで業務を遂行する際、どのような点を意識されていますか？

自分自身で全てをこなそうと思わないこと、チームメイトの適性や仕事量などを把握しておくこと、サポートを当たり前と思わず感謝を忘れないこと、そういった点は意識しています。自分自身がプレイヤーとして活動しながら管理業務も含めた全てをカバーするのは容易ではありません。そこでチームメイトの力を借りることになるのですが、その際にはやはりそれぞれの個性や仕事の状況を理解し配慮することが大切だと思います。忙しくなるとついそういったことがおろそかになりがちなのですが、普段からチームメイトと会話し業務スケジュールを把握することができていれば、急な案件が入った時でもスムーズな対応が可能になると思います。



Q.アクシスの魅力について教えてください。

日々生じるお客様の経営課題に対し、ワンストップで様々なサービスを提供できる点がアクシスの最大の魅力ではないでしょうか。新型コロナウイルス感染拡大が問題になってからも、LINEを使った無料の給付金申請支援や借入のための情報発信などをいち早く実施することができましたが、こういった新しい取り組みをスピーディーにかつ大量に行えるのも、個性豊かなスタッフたちがプロジェクトチームを編成し、お客様の利便性を考えながら業務に取り組んでいるからだと思います。今後も、リーダーである川人広平代表のもと、20代30代の若いスタッフたちがさらに活躍していくことで、より便利で充実したサービスをお客様に提供していただけるようになると思います。

Q.今後の目標や挑戦したいことについて教えてください。

目標というより理想というべきかもしれませんが、私は、都市部に出て行った若者が、徳島に戻ってきて働きたいと思えるような会社にアクシスがなれば良いなと思っています。最近入社した社員の中には、アクシスのインスタグラムを見て雰囲気よさそうだから応募したという者も少なくないのですが、そういった新しいツールを積極的に使って会社の良い部分をPRすると同時に、会社の中身自体も今の時代に合った働きやすい環境に変化していく必要があります。ですので、私も取り残されないように、まずはインスタ映える服装や髪形に変えていこうかな、と(笑)。